

<第8次延岡市行財政改革>

実施状況等説明資料

令和4年6月

改革取組数	実施状況		割合	進捗評価		
				A 計画を上回る	B 概ね計画通り	C 計画を下回る
95 項目	◎ : 実 施	77 項目	81.1%	3 項目	69 項目	5 項目
	○ : 実 施 確 定	3 項目	3.2%	—	—	—
	△ : 検 討 ・ 研 究	15 項目	15.8%	—	—	—

1. 市民が主役のまちづくり

No	改 革 項 目			実 績	実施状況	進捗評価
1	(1) 市民協働の推進	① 地域コミュニティの充実	区長連協の支援（運営・研修、未加入対策など）、コミュニティセンターによるコミュニティ活動支援	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「区加入促進リーフレット」の作成。 部 数：9,000部 配布先：区、市民課窓口、九州保健福祉大学入学前ガイダンス 等 ・SNS（LINE、Facebook）を活用した区加入促進啓発の実施。 ・コミュニティセンターにおける運営研修実施及び共通事務処理ファイルの作成。 	◎	B
2	(2) まちづくり活動の支援・育成	① 市民協働事業の推進	市民協働まちづくりセンターによる市民活動の支援、市民まちづくり活動支援事業による市民活動の支援	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民まちづくり活動支援事業：18事業を採択（5つの新規事業を含む） ・市民活動の円滑化を図るため、市民協働まちづくりセンターによる中間支援（相談対応等）を実施。 	◎	B
3		② 健康づくり・福祉・環境等の分野における市民活動の推進	健康づくりイベント、市民体カテースト、農地維持や農村環境保全への取組、生涯学習事業、市民大学講座 等	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり活動に市民が参加するきっかけを増やし市民活動を支援するため、以下の両アプリを活用。 ・のべおか健康マイレージ（健康づくりの取組にポイント付与） 6月1日リリース、約6,300人参加（3月末時点） ・のべおかCOIN（福祉・環境等の取組にポイント付与） 8月1日リリース、約13,900人参加（3月末時点） ・脱炭素社会づくり講演会 11月19日開催 約110人参加 ・環境講演会 7月17日 約100人参加 ・第28回延岡アースデイ 新型コロナウイルス感染症の影響により縮小分散会として開催。 3日間（10月24日、11月14日、11月28日）6会場で約270人参加 ・市民大学 14回 延533人 ・さわやかカレッジ 16回 延969人 ・市民大学院 10回開催 延449人参加 	◎	A

4	(3) 市の意思決定等における市民参画の促進	① 各種審議会等の充実	女性委員や公募委員など多方面からの委員の選任	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2つの会議において、委員の公募を実施。 <ul style="list-style-type: none"> 都市計画課（延岡植物園魅力アップ検討委員会（21名中5名） 城山公園 Park-PFI 設置等予定者選定委員会（14名中2名） ・ 7つの会議において、女性委員を新たに選任。 <ul style="list-style-type: none"> 保健体育課 <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者選定に関する審査会議（14名中2名） 学校給食調理等プロポーザル審査委員会（6名中2名） 都市計画課 <ul style="list-style-type: none"> 都市計画審議会（15名中2名） 延岡植物園魅力アップ検討委員会（21人中9名） 城山公園 Park-PFI 設置等予定者選定委員会（14名中3名） 建築指導課 <ul style="list-style-type: none"> 延岡市建築審査会（7名中4名） 延岡市空家等対策審議会（12名中3名） 	◎	B
---	------------------------	-------------	------------------------	---	---	---

2. 「対話の市政」の基盤となる広報・広聴の充実

No	改 革 項 目		実 績	実施状況	進捗評価
5	(1) 「市民目線」の広報活動の展開	① 広報業務における民間複業人材の活用(新)	<p>【令和3年度】</p> <p><広報のべおか及び北方・北浦・北川総合支所だより></p> <ul style="list-style-type: none"> ・登用した「広報紙アドバイザー」より、特集記事の作成や紙面デザインに係るアドバイスを受け、より読みやすい広報紙に内容を改善。 <p><市 HP></p> <ul style="list-style-type: none"> ・登用した「HP アドバイザー」よりアドバイスをを受け、HP のデザインや画像イメージ、防災サイト、各見出しのほか、スマホ版トップページや図書館サイトを改善。 ・アドバイスを受けた箇所の改善を行い、12月1日に市 HP のリニューアルが完了。 <p><SNS></p> <ul style="list-style-type: none"> ・登用した「広報・PR アドバイザー」よりアドバイスをを受け、LINE では必要な情報を端的に届ける事が重要視されるため、長文を避け端的な文章に改善。Facebook では見てほしい情報ほど写真等で目を引く工夫をする必要があるとのアドバイスをを受け、わかりやすい写真等を添付するよう改善。 	◎	B
6		② 市政情報の積極的な発信	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙をはじめ、市 HP、facebook、LINE 等の SNS を使った一体的な情報発信を行うとともに、いわゆる“情報弱者”の方にも情報が届くように、市内で人が多く集まる施設8カ所にインフォメーションディスプレイを設置し情報発信を行うなど、可能な限り多くの市民の皆様にも市政情報が届くよう、戦略的・積極的な情報発信を実施。 ・(株)FunMake と連携した YouTube 動画制作及び配信。 	◎	B
7		③ 公式ホームページのリニューアル(新)	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が、デバイス(PC、スマートフォン、タブレット)の種類に関わらず、快適に市HPを閲覧できるように、レスポンシブレイアウトを採用(※)。 <p>※どんな大きさの画面でも見やすく、使いやすいWEBサイトのこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語自動翻訳や音声読み上げ機能など外国人の方や障がいのある方にも使いやすい、いわゆるアクセシビリティへの対応、全ページ暗号化通信の導入等によるセキュリティの向上、また、最新の JIS 規格に準拠した CMS に入れ替える等のさまざまな改善を行い、12月1日に市HPのリニューアルが完了。 	◎	B

8		④ 市民のデジタル化対応支援(新)	シニア向けスマートフォン講習会の開催等	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シニア世代を対象とした無料のスマートフォン講座を、6月以降ほぼ毎月開催。 開催回数：計14回 参加者数：延べ245人 ・個人や事業者の方々を対象としたIT、ICTに関する無料相談会 開催回数：計3回 参加者数：延べ43人 	◎	B
9	(2) 市民との対話機会の拡充	① 市民の意見等の市政への反映	移動市役所、出前市長室、市民の声の活用、地域担当職員制度	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「市民の声」の件数：397件 ・出前市長室 : 6件、参加者数：267人 ・地域担当職員制度 : 10地区、13人を配置。各地区会議等への出席(40回) 	◎	B
10		② 条例に基づく政策形成過程への市民の参画推進	パブリックコメントの実施	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月にパブリックコメント条例が施行。 ・3月末時点で延べ20件のパブリックコメントを実施、意見数137件。※ ※平成29年2月以降の累計：延べ94件実施、意見数2,745件。 	◎	B
11		③ 「市民の意見・提言」聴取機会の拡充	各種計画策定時の市民ワーキング、事前説明会、座談会、各種アンケートの実施 等	<p>【令和3年度】</p> <p><企画課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・延岡市スーパーシティ構想に係る住民説明会 開催回数：4回(初回提案時3回、再提案時1回) 参加者数：延べ193人 <p><経営政策課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者が描く魅力あるまちづくりミーティング 開催回数：3回 参加者数：延べ31人 	◎	B

			<p><地域・離島・交通政策課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「小川～平田線」意見交換会 開 催 日：令和3年11月10日 参加者数：5人 ・「安井・神戸～レーヨン線」意見交換会 開 催 日：令和3年11月17日 参加者数：7人 ・「上三輪・貝の畑～岡富線」意見交換会 開 催 日：令和3年12月15日 参加者数：11人 ・乗合タクシー検証に関する意見交換会 開 催 日：令和3年7月27日 参加者数：6人 ・祝子川線乗合タクシーに関する説明会 開 催 日：令和3年11月9日 参加者数：約15人 ・「南部乗合タクシー 赤水・鯛名線」説明会 開 催 日：令和3年10月27日 参加者数：35人 ・「南部乗合タクシー 小野・石田線」説明会 開 催 日：令和3年10月27日 参加者数：14人 ・笠下地区座談会 開催回数：5回 参加者数：延べ59人 		
--	--	--	--	--	--

			<ul style="list-style-type: none"> ・ 中山間地域移動手段確保に関する説明（笠下区総会） <li style="margin-left: 20px;">開催日：令和4年3月27日 <li style="margin-left: 20px;">参加者数：約10名 <p><総合農政課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「延岡市農林水産業振興計画」（案）に係る市民ワーキング <li style="margin-left: 20px;">農業グループ：29人、林業グループ：13人、水産業グループ：18人 <p><商業・駅まち振興課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エンクロスのあり方を考える市民ワークショップ <li style="margin-left: 20px;">開催回数：2回 <li style="margin-left: 20px;">参加者数：延べ63人 <p><都市計画課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 延岡植物園アンケート <li style="margin-left: 20px;">調査期間：令和3年10月4日～令和3年11月21日 <li style="margin-left: 20px;">調査対象：延岡市民及び来訪者 <li style="margin-left: 20px;">回答数：3,034人 <p><学校教育課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ のべおか未来ワークショップ（学校教育課） <li style="margin-left: 20px;">開催回数：1回 <li style="margin-left: 20px;">参加者数：延べ66人 		
--	--	--	---	--	--

			<p><保健体育課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・西階公園野球場施設整備検討会議 <p>開催回数：1回</p> <p>参加者数：委員12人</p> <p><図書館></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3次延岡市子ども読書活動推進計画の策定に伴うアンケート調査 <p>対象者：児童生徒及び保護者、教育・保育施設</p> <p>回答：小学校3年生 回答数241件 回答率92%</p> <p>小学校5年生 回答数233件 回答率84%</p> <p>中学校2年生 回答数283件 回答率86%</p> <p>教育・保育施設 回答数26件 回答率70%</p>		
--	--	--	---	--	--

3. 地域の実情にあった「スマートシティ」の構築

No	改 革 項 目			実 績	実施状況	進捗評価
12	(1) 新たな「情報政策推進計画」に基づく地域のデジタル化の基盤整備	① ケーブルテレビ網の光化(新)	光ケーブル未整備地域(市内周辺部、旧北方町、旧北川町)の光ケーブル化を推進	【令和3年度】 ・旧延岡市周辺部、旧北方町、旧北川町の光ケーブル未整備地区に対し、ケーブルメディアワイファイが主体となってケーブルテレビ網光化工事を実施し、市内全域において光ファイバーの利用可能を実現。	◎	B
13		② 公衆無線LAN環境の整備拡大(新)	観光施設や行政施設等における公衆無線LAN環境の整備拡大	【令和3年度】 ・公衆無線LAN環境を維持するため、本庁舎1階エントランス、市民スペース、2階市民ギャラリーで使用可能な公衆無線LANについて、契約満了に伴う新たな契約(5年間)を締結。 ・図書館内の公衆無線LANについて、連続使用可能時間を延長(60分→180分)。	◎	C
14	(2) 行政・施策のデジタル化	① 行政手続きのオンライン化(「来庁不要の手続き」の増)(新)	適切なオンライン申請システムの導入、マイナンバーを活用した申請システム「ぴったりサービス」の利活用の検討	【令和3年度】 ・「ぴったりサービス ^{※1} 」の3つの手続き(子育て:1、介護:2)において、電子申請を開始。 ・オンライン申請システムとして「Logoフォーム ^{※2} 」の試行運用を開始。 ※1「ぴったりサービス」・・・あらゆる分野の手続のオンライン申請実現に活用できるシステム ※2「Logoフォーム」・・・電子申請、申込予約などのフォームを作成・集計し、一元管理できる自治体専用のデジタル化総合プラットフォーム	◎	B
15		② マイナンバーカードの普及及び利活用の促進	マイナンバーカードの取得促進、マイナンバーカードの活用(コンビニ交付サービス、各種証明のオンライン申請、地域ポイント制度等)	【令和3年度】 ・出張申請回数:74回、申請受付件数:924件。 ・出張申請の体制強化を図るため、2月からマイナカーを導入。 ・マイナンバーカードの申請・交付の体制の強化を図るため会計年度任用職員を2名増員。 ・3月末現在:マイナンバーカード 申請率 56.3% 交付率 49.7%	◎	B

16	③ 自治体クラウドシステムの標準化・共通化(新)	自治体クラウドシステムの標準化・共通化	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月に国が示した「自治体DX推進手順書」を基に、システムベンダーやアドバイザー契約を締結している一般社団法人九州テレコム振興センターと、システムの標準化に伴うスケジュールの確認など適宜協議を実施。 ・システムの標準化に向けて各業務の棚卸しを行うとともに、標準化対象20業務のうち先行して標準仕様書が示されている「住民基本台帳」について、業務手順の標準フローと現行フローの分析（Fit&Gap）を実施。 	◎	B
17	④ RPA等の活用による業務の効率化(新)	RPA、AIの導入	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規にRPAを6業務に導入 <ul style="list-style-type: none"> 調定書作成業務 放課後児童クラブ加入者登録業務 非課税年金対象者の所得情報入力業務 財産入力業務 マイナンバーカード交付管理簿作成業務 契約管理システム業者登録業務 ・約750時間の業務時間を削減。 	◎	B
18	⑤ 議事録作成支援システムの導入(新)	音声認識技術を活用した議事録作成システム及び機器の導入	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸会議等の議事録作成の効率化を図るため、4月より議事録作成支援システムの本格運用を開始し、約1,030時間の業務時間を削減。 	◎	B

19	⑥ インターネット 接続環境の改善(新)	庁内の執務環境において自席端 末からインターネットへアクセ スが可能となるよう環境改善	【令和3年度】 ・自席の LGWAN※系の端末（個人情報系を除く）からインターネットにアクセスを可能と するシステムの利用環境を構築。 ・自席の LGWAN 端末で国や他自治体とのメール送受信に加え、民間事業者等とのインター ネットメールの送受信を可能とするシステムの利用環境を構築。 ※「LGWAN」・・・地方公共団体を相互に接続する行政専用のネットワーク	◎	B
20	⑦ 書面主義・押印 原則・対面主義の見 直し、ペーパーレス 化(新)	オンライン手続【書面】、行政手 続・内部手続（会計手続、人事手 続等）の押印見直し【押印】、対 面手続のオンライン化【対面】	【令和3年度】 ・財務事務に係る請求書等の押印見直し（規則等の改正）が完了。 ・各課における規則等の改正は、適宜見直しを継続して実施中。 ・市長、両副市長、教育長及び部局長で組織する延岡市行政経営会議（毎月開催）を7月以 降はペーパーレスで実施。	◎	B
21	⑧ テレワークの推 進(新)	テレワーク環境の整備と効果的 な運用	【令和3年度】 ・4月より運用を開始。 ・令和3年度末時点の利用実績：241人（260回）利用 利用課室数： 57課室 稼働日：1,023日間	◎	B
22	⑨ リモート会議の 推進(新)	リモート会議実施のための通信 環境等の整備、リモート会議の推 進	【令和3年度】 ・テレビ会議専用回線を1回線増設（計2回線）。 ・テレビ会議用PCを4台運用。一日あたり平均6.1件程度のリモート会議を開催。 ・リモート会議が行える会議室を6箇所整備。	◎	B
23	⑩ オープンデータ 公開の推進(新)	公開データの拡充、活用事例の調 査・研究	【令和3年度】 ・既に公開していたコミュニティバス・乗合タクシーに係る時刻表等のデータ更新を実施。 ・外部アドバイザーによるオープンデータ拡充に係る研修を実施。	△	

24	⑪ 情報セキュリティの強化	情報セキュリティ研修の実施	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用職員情報セキュリティ研修（実施日：4月2日） ・管理職情報セキュリティ研修（実施日：7月20日、参加者：136名） ・各課室情報セキュリティOJT研修（参加者：1,136名） ・情報セキュリティニュース（年2回配信） 	◎	B
25	⑫ 各種施策のDXの推進(新)	(ア) 市民行動データの収集・分析等の調査結果を活かしたバス路線の設定等	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の行動データの収集・解析 <p>実施期間：4月9日～6月30日</p> <p>参加者数：1,078人</p> <p>収集手段：参加者はスマートフォンに専用アプリを登録し、行動データの収集に協力。</p> <p>行動解析：収集データの解析を実施。</p>	◎	B
		(イ) 健診結果データの連携	<ul style="list-style-type: none"> ・3年以上健診を受けていない人へ健診を促進。 ・71歳以上の市民を対象に認知症に関する電話調査を実施。 ・調査結果を分析し、今後の認知症予防に対する方向性を検討。 ・医療機関向けのシステムを10施設で導入。 	◎	B
26	⑬ DXの推進におけるデジタル専門人材の活用(新)	民間複業人材等の活用	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人九州テレコム振興センターと連携協定を締結したほか、民間の複業人材1名を延岡市DX推進アドバイザーとして採用し、自治体DXの推進や地域社会のデジタル化の方針をまとめた「延岡市情報政策推進計画」の策定などにおいて意見を反映。 	◎	B

4. 効果的で効率的な行政経営

No	改 革 項 目		実 績	実施状況	進捗評価	
27	(1) 低コスト で効率的な 行政運営	① 民間活力の導入 (新)	(ア) 職業訓練支援センターに係る指定管理者制度の導入	【令和3年度】 ・ 指定管理料の積算資料を作成 ・ 仕様の検討	△	
		(イ) 体育施設への指定管理者制度の導入(新)	【令和3年度】 ・ 市内有料スポーツ施設〈19施設〉に新たに指定管理者制度を導入することに伴い、公募による指定管理者選定を実施。 〈19施設〉の内訳 西階公園（陸上競技場、野球場、庭球コート、補助グラウンド、球技場、弓道場）、 妙田公園（野球場、南広場、北広場）、延岡市大武体育館、延岡市北方勤労者体育センター、延岡市北方運動公園、延岡市北浦グラウンド、延岡市北浦海浜運動公園及び延岡市北川運動公園 ・ 指定管理者制度の設置条例の制定：6月定例市議会 公募期間：7月5日～9月30日 申請団体数：2団体 指定管理者選定会議：10月7日（一次審査）、10月14日（二次審査） 指定管理期間：令和4年4月1日～令和7年3月31日（3年間）	◎	B	
		(ウ) 延岡城・内藤記念博物館への指定管理者制度の導入	【令和3年度】 ・ 公募による一部指定管理者選定を実施。 公 募 期 間：10月29日～1月21日 申 請 団 体 数：3団体 指定管理者選定会議：2月2日 指定管理期間：令和4年4月1日～令和7年3月31日（3年間）	◎	B	

		(エ) 延岡城址付近に Park-PFI (公募設置管理制度)等を活用した古民家風の施設整備による城山公園の活性化	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予備サウンディング (6月9日～7月16日) ・ 選定委員14名 (うち2名公募) 決定 (10月13日) ・ パブリックコメントによる意見募集 (8月30日～9月28日) ・ 第1回 Park-PFI 選定委員会開催 (11月7日) ・ サウンディング調査 (11月17日～12月24日) ・ 第2回 Park-PFI 選定委員会開催 (3月23日～3月31日) ※書面開催 ・ 旧後藤邸の材料の保管場所として、廃校となった小学校を活用。 	◎	B
28	② コールセンターの活用	業務内容に応じたコールセンターの活用	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民等からの電話による申し込みや問い合わせ等に対し、迅速かつ正確な対応を行うため、コロナワクチン接種の予約、プレミアム商品券対応、事業者向け事業継続支援金及び緊急支援金、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金、まん延防止等重点措置適用に伴う協力金事業において、民間のコールセンターを活用。 	◎	B
29	③ 入札制度改革	地元業者への優先発注、オープンカウンター方式の実施、条件付一般競争入札の範囲拡大(簡易型条件付一般競争入札方式の本格導入)	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元業者への優先発注 建設工事の件数ベースで99.2%、建設関連業務で79.5%、全体で95.4%を市内業者へ発注。 ・ 条件付一般競争入札の範囲拡大(簡易型条件付一般競争入札方式の本格導入) 建設工事について簡易型条件付一般競争入札方式の試行案件を拡大し27件実施(令和2年度は8件)。 本市ホームページでの公表や、業界団体との意見交換及び継続的な試行によって入札方式も浸透し、公平性・競争性が向上。 ・ オープンカウンター方式の試行 20件実施。当初目標は10件。印刷については、見積参加者数の増加に伴い、競争性が向上。 	◎	B

30	④ 効果的で信頼性の高い行政運営(新)	(ア)PDCA サイクルに基づく計画の適正な進行管理	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期総合計画の「主要な指標」の達成状況について、従来の各課室管理を改め、全庁的な進捗状況調査を行うことを決定。 ・総合戦略の「KPI（重要業績評価指数）」については、「地方創生有識者会議」において効果検証を実施。 	○	
		(イ)ヒヤリ・ハット事例調査の実施	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度末に全庁的に「ヒヤリ・ハット事例調査」を実施し、令和3年度版の事例集を作成。 ・事務処理ミスが発生しやすい人事異動時期（令和4年4月初め）に、全庁的に注意喚起メールを発信するとともに、事例集を参考に事務処理ミス発生未然防止を図るよう、注意喚起メールを発信。 	◎	B
31	⑤ 外部人材・民間複業人材など多様な人材の参画(新)	(ア)なんでも総合相談センターにおける民間人材の活用	<p>【令和3年度】</p> <p>《民間団体との連携》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの内容に応じて市民に寄り添った対応を行うため、行政書士会や公証役場、行政相談所、その他民間団体の計4団体へ、無料で相談場所を提供。 ・令和2年度より継続して、民間の有資格者5人を相談員として登用。 准看護師（1人）、社会福祉士（1人）、教員（2人）、保育士（1人） <p>《専門機関（WOLI）との連携》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複合的・重層的な問題については、より専門的な知見を活用した問題解決が必要となることから、医師や弁護士など様々な専門家が在籍する相談機関である WOLI と連携するなど、官民連携による相談体制を構築。 	◎	B

		(イ) 地域おこし企業人交流プログラムによる民間人材の活用 (介護予防施策の促進)	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携候補企業との協議（WEB）を行い、本市の現状や課題、地域資源等について共通理解を図るとともに、必要とされる取組について検討。 ・総務省主催の地域活性化企業人事業研修会（WEB）に参加。 ・先行導入自治体での取組事例を調査。 	○	
		(ウ) 地域おこし企業人交流プログラムによる民間人材の活用 (観光施策の促進)	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ANA あきんど株式会社へ観光誘客のための観光振興企業人派出業務委託を行い、観光戦略課内に新分野開拓マネージャーを配置。 ・コロナ収束後を見据えた観光誘客促進を図るため、ANA 総合研究所の facebook を活用した情報発信、海外旅行会社向け情報発信、ANA 機内誌への記事掲載等を実施。 ・ANA 総合研究所 facebook フォロワー数：8,435 人（3月7日時点） ・海外旅行会社向け情報発信（ODESSEY JAPAN への投稿）：メール配信社 370 社（450 人） ・ANA 機内誌「翼の王国8月号」：WEB 版ダウンロード数 約 15,000 回 	◎	B
		(エ) 企業版ふるさと納税（人材派遣型）における民間人材の活用	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業版ふるさと納税制度（人材派遣型）について企業へのPRや事業のマッチング方法について検討を行い、本市のホームページ等を通じてPRを実施。 ・本市にゆかりのある企業との協議を実施。 	△	

32		⑥ なんでも総合相談センター等の機能充実(新)	(ア) なんでも総合相談センターにおける重層的支援体制整備事業の実施	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重層的な課題を抱えたケースに対しても、なんでも総合相談センターにおいて、課題解決に向けて関係部署や関係機関へ適切につなぐことや、医師や弁護士など様々な分野の専門家が在籍する相談機関である WOLI からの助言を受けてアドバイスを行うなど、市民に寄り添った伴走型の支援を実施。 ・令和3年度宮崎県重層的支援体制推進会議（WEB）に参加し、県内の行政職員と社会福祉協議会職員が一堂に会し、制度の共通理解や今後の体制づくりの在り方について検討。 ・関係機関（市社会福祉協議会）との意見交換、情報交換を実施し、制度の共通理解と現状、課題を共有。 ・先行自治体の取組事例を調査、研究。 ・令和2年度より継続して、センターの事業費の一部について国庫補助（重層的支援体制整備事業移行準備事業 9,247 千円(令和3年度調定額)）を活用。 	◎	B
			(イ) 「おくやみコーナー」による市民への各種手続き支援	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係各課へ提出する申請書に遺族や死亡者の氏名、住所などをあらかじめ印刷した申請書を渡し、申請担当課への案内を行うことで遺族の負担を軽減。 ・必要な情報を事前に把握することで、申請担当課における聞き取り時間や申請書記入の時間が短縮。 <p>開設日：令和3年7月28日</p> <p>受付件数：859件（月平均 約107件）</p>	◎	B
33	(2) 健全財政の維持等	① 市税等の収納率の向上に向けた方策検討	市税等の収納率の向上等に向けた方策の検討	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市税については、搜索も含めた財産調査を徹底し、債権・動産・不動産の滞納処分及び税への換価充当並びに滞納処分の執行停止を行い、案件を早期に解決。 また、Web口座振替及びPayPay等のスマートフォン決済の普及を促進。 ・国保税や公課については、債権の発生から消滅までの適正な管理が行えるようOJTによる研修の実施をはじめ、財産調査の拡充や効果的な催告の検討、搜索の実施など収納率を向上させるための環境を段階的に整備中。 	◎	C

34	② 使用料・手数料の適正化	使用料・手数料の見直しによる受益者負担の適正化	【令和3年度】 ・行政サービスに対する適切な使用料を設定するために、原価の算定方法や、その原価に対する受益者負担及び公費負担の割合の考え方などについて検討。	△	
35	③ 事務事業評価の充実	事務事業評価の充実による事業の選択と集中	【令和3年度】 ・各課室において、約800事業の事務事業評価を実施。 ・事業の継続、廃止、縮減について市長による主要事業のヒアリングを実施。	◎	B
36	④ 保育所等の定員設定による給付費の適正化	入所児童数の定員超過施設の定員見直しによる給付費の適正化	【令和3年度】 ・計 ▲11,278千円 東幼稚園 10名の増(2・3号 10名増) 削減額 ▲3,387千円 土々呂幼稚園 10名の増(2・3号 10名増) 削減額 ▲7,891千円	◎	B
37	⑤ 補助金等の見直し	事務事業評価による補助金の見直し、補助金見直しチェックシートの活用	【令和3年度】 ・「補助金見直しチェックシート」により、補助効果の検証の徹底、補助金のあり方や今後の方向性を見据えた主体的かつ建設的な見直しを実施。	◎	B
38	⑥ 脱炭素社会に向けた取組(新)	(ア)脱炭素社会の実現に向けた取組の実施検討	【令和3年度】 ・脱炭素社会づくり講演会「都市システムデザインでつなぐ~気候変動とスーパーシティ~」(慶応義塾大学山形教授)の開催。 ・令和3年12月 慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究室(代表山形与志樹教授)と連携協定締結。 ・環境省における地域脱炭素の全国モデルとなる「脱炭素先行地域」の募集に対し一ヶ岡地区を案として応募。 ・マイカー依存を減らすための循環バスや乗合タクシーの運行を土々呂中学校区等で実施。	△	

			(イ) コンポストの普及促進や ごみ問題への対応等	【令和3年度】 ・ 生ごみ処理機等購入費補助金 補助金交付実績：59 基 ・ 他市町村の状況調査実施、過去の申請実績から生ごみ処理機等の価格調査、補助金額の見直し案を作成	△	
39		⑦ 「指定管理者制度運用方針」の改定などによる指定管理料等の見直し(新)	公費負担の在り方を明確にした 支出基準の策定等	【令和3年度】 ・ 指定管理料の積算方法を「本来市が負担すべき経費を特定して、市が確実に経費を負担する」という考え方に基づいて、まず、「ETORランド速日の峰」をモデルとして指定管理料の再設定を実施し、経営責任を明確化。	◎	B
40	(3) 適正な公共施設維持管理等の推進	① 公共施設維持管理計画の推進	(ア) 公共施設維持管理計画及び個別施設計画に基づく進捗管理	【令和3年度】 ・ 延岡市公共施設維持管理計画を改訂。 ・ 個別施設計画の実施計画(※)を策定。 ※個別施設計画において第一期(2021~2030年)の方針が現状維持以外(修繕、大規模改修、解体・処分等)とされた174施設を対象に、今後予定している事業の具体的な内容と実施年度を定めた計画。	◎	B
			(イ) PPP/PFI手法導入の推進	【令和3年度】 ・ 公共施設等におけるPPP/PFI導入推進に係る庁内ワーキンググループ会議を4回開催。 ・ PPP/PFI手法導入優先的検討規程(案)及びPPP/PFI手法導入検討委員会要綱(案)を作成。 ・ 新たに整備予定の市営住宅へのPFIの導入について、国土交通省と協議。	◎	B
41		② ESCO事業の導入検討等による公共施設管理経費の節減(新)	(ア) ESCO事業等の導入検討	【令和3年度】 ・ ESCO事業者2社、経営コンサルタント会社1社と個別に連携しながらESCO事業の実施可能性について検討。 ・ 箱物施設だけでなく、外灯を含め複数の事業者からの提案もあり、さらに脱炭素化も含めて民間活力の導入について検討中。	◎	B

			(イ) エレベーター管理契約の見直し	【令和3年度】 ・標準的な仕様書を作成し、令和3年度に保守管理契約を行った12基のうち、11基について、入札による保守管理契約を締結。	◎	B
42		③ 市有財産の有効活用	財産活用状況の調査、未利用財産の貸付・処分等	【令和3年度】 ・未利用財産であった妙見町の市有地（寿の家跡地）外5件について、合計10,054,291円で売却。 ・土地・建物の貸付の実績：貸付金額49,665,284円（実件数245件）。	◎	B
43		④ 山村定住住宅の譲渡	譲渡要件を満たす入居者への山村定住住宅の譲渡	【令和3年度】 ・長期間空家になっていた2件について解体を実施。 ・譲渡については1件鑑定評価を行い、入居者より譲渡承認申請書を受領済み。	◎	B
44		⑤ インフラの長寿命化(新)	長寿命化計画等に基づく道路・橋梁等のインフラ施設の計画的な点検・修繕・更新の実施	【令和3年度】 ・道路長寿命化修繕計画更新 舗装修繕3路線 ・橋梁点検118橋（内直営71橋） 実施設計9橋（内直営1橋） 修繕工事9橋 ・側溝布設替え9路線、橋梁部照明点検125本 照明灯修繕2路線 トンネル照明点検551箇所	◎	B
45	(4) 第三セクター等の経営改善	① 「第三セクター等に関する指針」に基づく取組の推進	(ア) 株式会社ヘルストピア延岡の経営改革（温水プール・温浴等の安定的な運営、利用者数の増加、経営健全化）	【令和3年度】 ・ヘルストピア延岡ビジョン策定検討委員会において示された「ヘルストピア延岡の今後のあり方と進むべき方向について」を受けて、会員制度の見直しのほか、キッズランド移設改修や、売店のテナント化等の経営改革を実施。	◎	B

		(イ) 一般財団法人速日の峰振興事業団の経営改革(宿泊促進事業等による収入増、事業や必要経費の効率化)	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により、計画していた集客事業が未実施。 ・経費削減のため、電力契約の見直しやホームページの独自作成等を実施。 	◎	B
		(ウ) 祝子川温泉美人の湯の経営改革(根本的な経営改善対策の実施)	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に策定した経営改革プランに基づき、引き続き、地域力創造アドバイザーを活用したさらなる経営改革の検討 ・個人株主より株式を取得(個人株125株) ・地域おこし協力隊インターンの募集開始(3月～) ・エコパーク拠点整備構想策定において、温泉を核とした祝子川地域における拠点整備を検討 ・祝子川森林レクリエーション施設の指定管理者を祝子川財産管理組合より本会社へ変更 	◎	B
		(エ) 須美江家族旅行村管理協会の経営改善(設備等の修繕・更新、利用時間等の見直しを検討)	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化が著しかったテニスコート4面の改修完了。 ・ケビンの使用時間見直し(繁忙期には清掃作業や点検等に時間を要していたことから、利用者の入室の準備を充実させ利用者に快適に利用してもらうため「午後4時から翌日の午後1時まで」を「午後4時から翌日の午前11時まで」に変更)。 	◎	B
46	② その他第三セクターの経営改善	(ア) 一般財団法人延岡市高齢者福祉協会の経営改善(利用者ニーズに応じた在宅福祉サービス等の提供)	<p>【令和3年度】</p> <p>アクションプランに基づいた以下の取組を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移送サービス : 延利用回数 114 回 ・通所型サービスC事業 : 実施回数 42 回、延人数 156 人 ・地域公共交通を活用した介護予防業務 : 実施回数 28 回、延人数 302 人 	◎	B

		(イ) 公益財団法人のべおか文化事業団の経営改善(自主事業の実施、野口遵記念館の開館に向けた取組)	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野口遵記念館の開館に向け、職員2名の増員による体制強化や開館記念イベントの協議を行ったほか、利用に関する市民アンケートを実施し、利用者ニーズを把握。 ・延岡総合文化センターについては、大ホール舞台機構の改修工事、受動喫煙を防止するための屋外喫煙所の改修工事及びスタインウェイグランドピアノの修繕のほか、繰越事業として大ホールトイレの洋式化工事を実施し、施設を充実。 	◎	B
		(ウ) (株)延岡地区有機肥料センターの経営改善(新商品開発、販路開拓・拡大)	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の稼働状況や製品状態、製品需要の状況を見ながら、新規農家の原料受入を実施。 ・経営改善を図るため、経費削減や製品製造効率の向上に努めたほか、8月、12月に経営検討小委員会を開催し、新商品開発や販売戦略などについて協議・検討。 	◎	B
		(エ) 有限会社延岡市リサイクルプラザゲン丸館の経営改善(資源物売買契約の随時見直し、施設修繕による長寿命化)	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単価の高いアルミ缶プレスの出荷回数を増やしたこと並びに資源物売買契約(売却単価)の随時見直しにより、創業以来最高の利益を達成。 	◎	A
		(オ) 一般財団法人北浦町農業公社の経営改革(受託事業・実証事業の収益増加、中核農家と連携強化)	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受託区域拡大への検討・協議。 ・ロマネスコ・カリフローレ等、新規作物の栽培実証事業を実施。 ・販売促進のため「のべおかECサイト」へ商品を登録。 ・葬祭用の茶の販売は、家族葬の増加など不安定である上にコロナ禍の影響で香典返しの需要が減少し低迷。 	◎	C

			<p>(カ) のべおか道の駅株式会社の経営改善(設備等の修繕・更新、既存施設再活用の検討・実施、イベント等の検討・実施)</p>	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常時の防災施設機能強化及び利便性の向上を図るため、道の駅北川はゆまのレストラン増築を実施。 ・閑散期における浜木綿村ケビンの利用促進を図るため、浜木綿村において、「星空さんぽ」企画、「鍋プラン」並びに小中学生の修学旅行やスポーツの「合宿プラン」を設定。 ・コロナ禍で市外客が減少する中、より多くの地元客にご利用いただくため、日配品、総菜、弁当、オードブル等の品揃えの強化並びに市外の人気商品の販売を強化するなど積極的に様々な取組みを行ったが、コロナ禍以前の経営状況までは回復していない。 	◎	C
--	--	--	--	--	---	---

5. 歳入増対策

No	改 革 項 目		実 績	実施状況	進捗評価
47	(1) 新たな財源確保策(新)	① ふるさと納税制度や新電力会社設立、ガバメントクラウドファンディング等の歳入増対策の推進(新)	<p>【令和3年度】</p> <p><ふるさと納税></p> <ul style="list-style-type: none"> ・返礼品については令和3年度末で約130の事業者から1,000品を越える返礼品が登録されており、随時磨き上げを実施中。 ・4つのポータルサイトを追加し、計12のサイトで返礼品のPRを行ったほか、RPP（検索連動型）広告により約36,000千円の売上増を達成。 ・令和3年度の寄附金額は前年比約1.4倍の8.2億円台と大きく増加。 <p><企業版ふるさと納税></p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄附獲得に向け本市ゆかりの企業への働きかけ、ホームページ等を活用したPRを行った結果、コスモス薬品株式会社からの75,250千円の寄附をはじめとして、合計4社から89,250千円の寄附を獲得。 	◎	A
		(イ) 新電力会社設立	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に策定した延岡市地域新電力会社創業事業計画に基づき、国の制度動向や電力業界の事業環境等に関する情報収集や収支の再確認作業を実施。 	△	
		(ウ) ガバメントクラウドファンディングの推進	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガバメントクラウドファンディングの導入時期や活用するポータルサイト、先行導入する事業について検討。 	△	

		(エ) 市有財産等を活用した財源確保事業	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市有施設の広告収入（ネーミングライツ）に関しては、他自治体の事例の調査や有識者との協議等を実施。 ・相続財産管理人制度については裁判所等のほか、関係機関へのヒアリング等を実施するとともに、制度活用可能性のある特定空家等の絞り込みを実施。 ・マンホール広告を検討しているが、宮崎県屋外広告物条例で規制されていることから、県に条例改正を要望。 	△	
48	② 国等の財政支援策のフル活用(新)	新たな国等の財政支援策の活用等	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度に新たに国等の財政支援策を活用し取り組んだ事業としては、例えば以下のとおり。 ※国庫支出金及び県支出金の金額は調定額（R4.5.24時点） 計 4,934,108 千円 <国庫支出金> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル基盤改革支援補助金（1,837 千円） ・新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金（287,266 千円） ・児童虐待・DV 対策等総合支援事業補助金（9,723 千円） ・保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業、放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業、実施円滑化事業（23,366 千円） ・新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金（773,410 千円） ・疾病予防対策事業費補助金（12,000 千円） ・重層的支援体制整備事業移行準備事業費（9,247 千円） ・子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金（3,400,373 千円） ・地方創生テレワーク交付金（9,316 千円） ・自治体マイナポイントモデル事業費（25,810 千円） ・地方創生道整備推進交付金（71,000 千円） <県支出金> <ul style="list-style-type: none"> ・未来へ駆ける市町村地域づくり総合支援事業補助金（3,599 千円） ・市町村交通事業者支援事業費（31,300 千円） ・子育て支援乳幼児医療費県補助金（76,614 千円） ・子育て支援対策臨時特例交付金（安心こども基金）（4,048 千円） 	◎	B

			<ul style="list-style-type: none"> ・ 県産農畜水産物応援消費推進事業 (18,837 千円) ・ 中山間地域所得向上支援事業 (21,973 千円) ・ 種子島周辺漁業対策事業 (62,599 千円) ・ 稼ぐ観光地域づくり推進支援事業等補助金 (755 千円) ・ みやざき応援消費活性化事業 (73,897 千円) ・ キャッシュレス版地域内経済循環支援 (4,460 千円) ・ 令和3年スクール・サポート・スタッフ配置事業 (12,091 千円) ・ 地域と学校の絆を育む体制整備推進事業費 (587 千円) <p>・ 令和3年度に活用した交付税措置のある有利な起債は、例えば以下のとおり。 <有利な起債> 金額は翌年度繰越を含む起債予定額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活性化事業債 (交付税措置：30%) <ul style="list-style-type: none"> 内藤記念館再整備事業 (930,700 千円) 城山公園景観整備事業 (32,800 千円) 野口遵記念館建設事業 (1,033,800 千円) ・ 緊急防災・減災事業債 (交付税措置：70%) <ul style="list-style-type: none"> 避難所等環境改善事業 (16,800 千円) 消火栓新設工事負担金 (19,800 千円) ・ 緊急自然災害防止対策事業債 (交付税措置：70%) <ul style="list-style-type: none"> 臨時河川等整備事業 (198,700 千円) 急傾斜地崩壊対策事業 (33,700 千円) 道路新設改良事業 (12,200 千円) ・ 公共施設等適正管理推進事業債 (交付税措置：30%) <ul style="list-style-type: none"> 都市公園施設長寿命化事業 (21,700 千円) 道路長寿命化修繕事業 (58,500 千円) 道路附属物長寿命化修繕事業 (22,400 千円) 県体育館整備事業 (50,600 千円) (交付税措置：50%) 延岡市職業訓練支援センター施設等長寿命化事業 (30,300 千円) 外 9 事業 (71,500 千円) ・ 過疎対策事業債 (特別分) (交付税措置：70%) <ul style="list-style-type: none"> 北浦漁港製氷施設整備支援事業 (10,000 千円) ・ 過疎対策事業債 (通常分) (交付税措置：70%) <ul style="list-style-type: none"> (ハード) 道の駅「北川はゆま」機能強化事業 (207,900 千円) 外 44 事業 (498,500 千円) 		
--	--	--	---	--	--

				<p>(ソフト) スクールバス運行管理事業 (35,000 千円) 外 4 事業 (190,500 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 辺地対策事業債 (交付税措置: 80%) 上三輪笠下線改良工事 (39,000 千円) 外 21 事業 (119,100 千円) ・ 一般会計出資債 (交付税措置: 50%) 水道事業における管路耐震化等 (72,800 千円) 		
--	--	--	--	--	--	--

6. 使命感を持って市民と向き合う市役所を目指して

No	改 革 項 目		実 績	実施状況	進捗評価														
49	(1) 職員の意識改革	① 職員研修の強化・充実(新)	<p>【令和3年度】</p> <p>・仕事に対し受け身ではなく、積極的・主体的に取り組むための意識改革や仕事を楽しくするためのスキルを身につける機会となる研修への参加</p> <table border="0"> <tr> <td> 待遇研修</td> <td>151名</td> </tr> <tr> <td> コンプライアンスセミナー</td> <td>67名</td> </tr> <tr> <td> リスクマネジメントセミナー</td> <td>21名</td> </tr> <tr> <td> 企画力向上セミナー</td> <td>18名</td> </tr> <tr> <td> ラテラルシンキング研修</td> <td>69名</td> </tr> <tr> <td> 地域イノベーター養成研修</td> <td>80名</td> </tr> <tr> <td> 児童生徒理解のための資質向上研修</td> <td>延べ60名</td> </tr> </table>	待遇研修	151名	コンプライアンスセミナー	67名	リスクマネジメントセミナー	21名	企画力向上セミナー	18名	ラテラルシンキング研修	69名	地域イノベーター養成研修	80名	児童生徒理解のための資質向上研修	延べ60名	◎	B
待遇研修		151名																	
コンプライアンスセミナー		67名																	
リスクマネジメントセミナー	21名																		
企画力向上セミナー	18名																		
ラテラルシンキング研修	69名																		
地域イノベーター養成研修	80名																		
児童生徒理解のための資質向上研修	延べ60名																		
50	② 事務改善の推進(新)	(ア) パブリックコメント閲覧資料の配付・回収の効率化、閲覧資料の設置スペースや機能の改善	<p>【令和3年度】</p> <p>・パブリックコメントの募集告知から、意見募集、回収、結果の公表まで時間的余裕がなく、また、実施時期が事業ごとに異なるため、定期化することができず、担当課室が設置、回収を行った。引き続き、各課室の意見を聞いたうえで管財課と実施に向け検討中。</p>	△															
		(イ) 決裁事務の効率化	<p>【令和3年度】</p> <p>・決裁権者は1日当たり最低1時間を決裁事務に充てる時間を確保。</p> <p>・議会答弁に係る協議日程及び時間を議会事務局と調整。</p>	◎	B														
		(ウ) 会計事務の効率化	<p>【令和3年度】</p> <p>・ペーパーレス化の推進及び会計事務の効率化を図るため、以下の取組を実施。</p> <p> 支出伝票に添付する書類の削減</p> <p> 決算作業時に各課へ配布する資料の削減</p> <p> 財務会計規則の改正及び会計事務手順の見直しにより、事務処理の効率化や事業者・市民負担の軽減。</p>	◎	B														

		(エ) 契約事務の効率化	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子入札（清掃等、物品）の導入検討 電子入札システム導入に関し、工事系の共同システムの活用について、県と協議・検討を行ったが、使用は不可。市単独での導入は非現実的で、今後の電子入札の必要性については要検討。 入札参加資格審査申請の電子化の検討 導入の可能性、手法、紙文書の取扱いについて、引き続き検討。 	△	
		(オ) 旅費算定事務の効率化	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「旅費取扱要領」の見直しを実施。 旅費算定事務の見直しは検討中。 	◎	B
		(カ) 人事異動等による事務引継の改善	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> コニカミノルタ株式会社が実施する「全庁業務量調査」により、各課室における業務の「可視化」及び「分析」を実施するなか、調査の成果物である「業務手順書（簡易版）」を業務マニュアルや引継書を作成する場合の基礎資料として活用することなどを検討。 定期人事異動における内示を、前年度より1日早めに実施。 	△	
		(キ) 庁内共有ドライブの管理方針等の検討、効果的な利活用	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全課共通・各課共有ドライブの使用基準の検討。 共有ドライブの容量不足解消に向けて新たなサーバーを導入。令和4年度中に本稼働予定。 	○	
		(ク) 共用車予約のシステム化	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員が使用する共用車の予約について、電話での予約から電子システムでの予約に移行。 共用車予約システムの運用に向けたルールを作成し、職員へ周知。 	◎	B

		(ケ) IC カード等のシステムを活用した出退勤管理	【令和3年度】 ・システム管理に移行するために必要な事項等の洗い出しを実施。	△	
		(コ) OA スキル活用による業務改善、職員向け OA スキル教育の実施	【令和3年度】 ・ICT 調達に係る具体的な留意点やチェックポイント等を盛り込んだ実践的ガイドラインを作成。 ・ICT 調達に係る着眼点等の説明や、ICT リテラシーを解説する各課室の担当職員向けの研修会を開催。(1回、28名参加) ・専門的な知見を有する事業者によるセカンドオピニオンや仕様書の作成支援。 ・職員向け OA スキル教育の実施については、令和4年度から OA 研修を開催するにあたっての、会場確保や OA 機器等の確保について、関係課室との協議等を実施。	△	
51	③ ゼロ予算事業の推進	予算を伴わない職員の創意工夫や新たな発想による事業の推進	【令和3年度】 ・(株)FunMakeと締結した連携協定により、ふるさと納税に関するシティプロモーション動画をゼロ予算で制作。 ・インターネット上の住民向けの手続き案内サービス「延岡市くらしの手続きガイド」のPR動画をゼロ予算で作成。 ・市民課「おくやみコーナー」における遺族の申請支援システムの作成。 ・スマートフォンアプリの利用による路面情報データ収集の効率化と年次計画への活用。	◎	B
52	④ 男女共同参画をより一層進める職場環境づくりの推進	女性職員が職場や地域で活躍できる職場環境づくり(各種研修の実施)	【令和3年度】 ・リーダーとして成長・活躍していくために必要な意識改革や課題解決等の方法を学ぶ研修に職員が参加。 ・アサーティブコミュニケーションセミナー 5名 ・リーダー養成研修 21名 ・ハラスメント研修 61名 ・中堅女性職員キャリアアップ講座 2名 ・キャリアデザインセミナー 4名 ・企画力向上セミナー 4名	◎	B

53	(2) 意欲や成果が評価され職員の働きがいを高める人事管理	① 業務に応じた適正な定員管理	適正な職員数の管理	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年4月1日 現在の職員数 1,136人 ・令和4年4月1日 現在の職員数 1,133人 (▲3人) ・各課室業務の効率化と重点事業の推進に向けて、全庁業務量調査による「可視化」及び「分析」を実施。 	◎	B
54		② 給与の適正化	給与の適正化	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国や県の制度を踏まえながら、他の自治体との均衡を図るなど、給与の適正化を実施。 	◎	B
55		③ 人事評価制度の拡充(新)	人事評価制度の拡充	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人事評価結果の活用状況を検証したうえで、活用範囲の拡充や導入時期を検討。 ・人事評価制度検討会議を、課長級及び係長級でそれぞれ開催。 	△	
56		④ 働き方改革の推進(新)	多様な働き方の実現	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・RPAの導入 : 新たに6業務に導入 ・在宅勤務 : 実施職員数 241人 ・KAIZENたまご運動 : 75事例 ・職員応援制度「助っ人ちゃん」: 実施職員数 19人 ・業務改革(BPR)の検討 : 全庁業務量調査による各課室業務の「可視化」及び「分析」を実施 ・障がい者就労ワークステーション(各課室の軽易な事務作業の切り分け・集約)の設立を検討 	◎	B

57	(3) 組織の整備	① 組織機構の改革	時代に即応した効率的・効果的な組織改革の実施	<p>【令和3年度】</p> <p>令和3年12月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『福祉給付対策室』を新設 <p>令和4年4月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画課の『施設経営係』を廃止 ・『スマートシティ推進室』を新設（『DX政策推進室』を廃止） ・『広報広聴係』を「経営政策課」から「総務課」に移管 ・『脱炭素政策室』を新設 ・『高齢福祉課』『こども家庭課』『健康増進課』『健康長寿のまちづくり課』『地域医療対策室』を『総合福祉課』『こども保育課』『おやこ保健福祉課』『健康長寿課』『地域医療政策課』に再編 ・『商工観光部』を『商工観光文化部』に改称の上、『商工観光文化部』に『歴史・文化都市推進課』を新設 ・教育委員会の『文化課』を『文化財・市史編さん課』に改称し、『文化振興係』を廃止 ・下水道課の『計画係』を『計画建設係』に、『建設係』を『維持管理係』に改称 ・保健体育課に『スポーツ施設係』を新設 ・『東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進室』を廃止 ・『国民文化祭・障害者芸術文化祭推進室』を廃止 	◎	B
58		② 広域行政体制の充実	定住自立圏構想や北部広域行政事務組合の枠組みを活用した取組の実施	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮崎県北部広域行政事務組合による取組みとして、新たに自治体職員データ活用スキル形成推進事業や県北地域移住・雇用促進事業などを実施。 	◎	B

59	③ 災害対応ネットワークの充実	災害ボランティアリーダー養成講座の実施、災害ボランティアネットワーク登録の推進	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティアネットワーク代表世話人会 : 5月開催 ・災害ボランティアリーダー養成講座 : 6月開催、参加者 37名 ・災害ボランティアネットワーク登録推進 : 登録団体 118 ・大規模災害時における相互応援協定連絡会 : 7月開催 ・県北地区防災担当者連絡会議 : 7月開催 ・民間事業者等との災害応援協定 : 3事業者と協定締結協議中 ・令和3年度宮崎県総合防災訓練(図上訓練) : 10月開催 	◎	B
60	④ 危機事象に関する職員の対応能力の強化	避難場所運営訓練、県民一斉防災訓練の参加、職員登庁及び安否確認訓練等	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚生班の避難場所運営説明会 : 5月、計4回開催、参加者 192名 ・都市建設部若手職員対象の避難訓練 : 8月開催、参加者 28名 ・県民一斉防災行動訓練(シェイクアウト) : 10月開催、参加者 5,363名 ・避難場所配置職員向けペット防災講演会 : 11月開催、参加者 83名 	◎	C
61	⑤ 自主防災組織の結成促進と既存組織の活性化	未組織地区の組織化推進、資機材の配備等	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の組織数及び組織率 <ul style="list-style-type: none"> 組織数 279 組織 (令和2年度 277 組織) 組織率 85.38% (令和2年度 84.85%) ・自主防災組織等への訓練、講話回数及び参加人数 <ul style="list-style-type: none"> 防災訓練 50回 4,508人 防災講話 89回 2,438人 ・自主防災組織への資機材配備 <ul style="list-style-type: none"> 新規資機材(防災資機材10品目) 4組織(未配備組織含む) 再配備資機材(発電機一式) 58組織 <p>※令和4年度より、再配備資機材として、ワンタッチテントが決定</p>	◎	B

62	<p>⑥ 外部人材・民間複業人材等の活用による行政課題への対応力強化(新)</p>	<p>外部人材・民間複業人材等の活用による行政課題への対応力が強化された組織づくり</p>	<p>【令和3年度】</p> <p><総務課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報のべおかについては、登用した「広報紙アドバイザー」より、特集記事の作成や紙面デザインに係るアドバイスを受け、より読みやすい広報紙に内容を改善。 ・市HPについては、HPのデザインや画像イメージ、防災サイト、各見出しのほか、スマホ版トップページや図書館サイトについてのアドバイスを受けた。12月1日に市HPのリニューアルが完了。 <p><情報政策課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間の複業人材1名を延岡市DX推進アドバイザーとして採用したほか、連携協定を締結している一般社団法人九州テレコム振興センターからアドバイス等を受けることで、自治体DXの推進や地域社会のデジタル化の方針をまとめた「延岡市情報政策推進計画」を令和3年12月に策定。 <p><観光戦略課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ収束後を踏まえた観光誘客促進を図るためのANA総合研究所のfacebookを活用した情報発信・海外旅行会社向け情報発信・ANA機内誌への記事掲載等 ・ANA総合研究所facebookフォロワー数：8,435人（3月7日時点） ・海外旅行会社向け情報発信（ODESSEY JAPANへの投稿）：メール配信社 370社（450人） ・ANA機内誌「翼の王国8月号」：WEB版ダウンロード数 約15,000回 <p><商業・駅まち振興課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域通貨「のべおかCOIN」事業としては、地域通貨に関する運営実績のあるアドバイザーから専門的知見により、将来の事業展開について他市の状況など踏まえ、市民向け、加盟店向け等に分け、具体的かつ効果的な助言を受けた。 <p>ユーザ数：13,907人、加盟店数 393店舗</p> <p>マネーチャージ額：約3億9千万円、消費額：約3億1千万円</p>	◎	B
----	---	---	--	---	---

				<p><学校教育課></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校主体による制服改革（標準服導入）の推進・指導、学校主体による校則改革の推進・指導 ・校長会制服研究会を設置。教諭・保護者・市 PTA 連協・業者・市教委による公聴会等を経て標準服を作成。令和 4 年度より延岡市立中学校のうち 8 校、日向市立中学校 2 校が採用。 ・ICT／プログラミング教育体制の構築（人型ロボット Pepper 活用）、離島（島野浦）教育の充実 ・Pepper 社会貢献プログラムの市内 27 小学校での活用スキームを構築。主に旭化成と連携、島野浦小をモデル校にプログラミング、PBL、環境、防災、科学分野等の授業プログラムを制作・実践。ICT 教育推進に係るソフトバンク社と市教委間の特命アドバイザー協定を締結。のちに市長部局との広域連携協定に発展。 		
63	⑦ テレワークの推進による多様な人材の活躍の促進及び働き方改革の推進(新)	テレワーク環境の整備による多様な人材の多様な働き方を実現できる組織づくり	<p>【令和 3 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレワーク（在宅勤務）：実施職員数 241 人 	◎	B	